

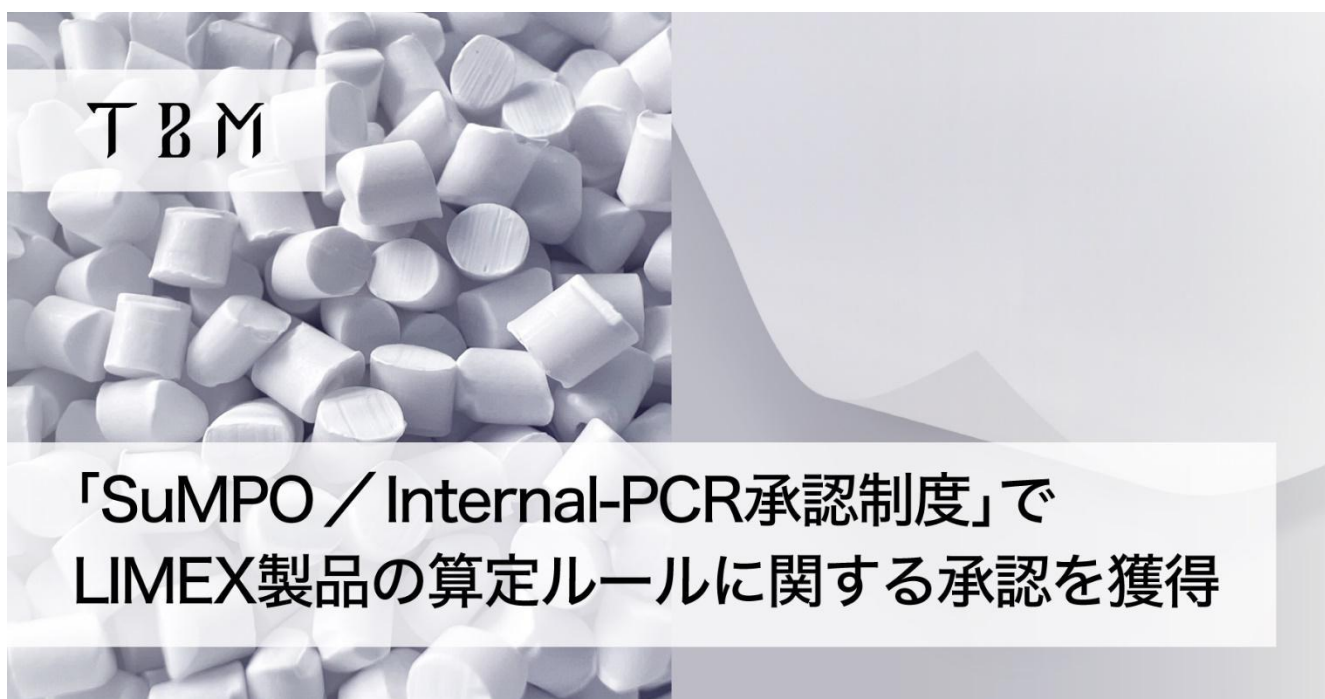
2024年4月15日

株式会社 TBM

報道関係者各位

**TBM、LIMEX 製品のカーボンフットプリント算定ルールに関して、
「SuMPO/Internal-PCR 承認制度」初の承認を獲得
～国際基準に基づいた算定ルールである承認を受け、製品情報の信頼性向上を推進～**

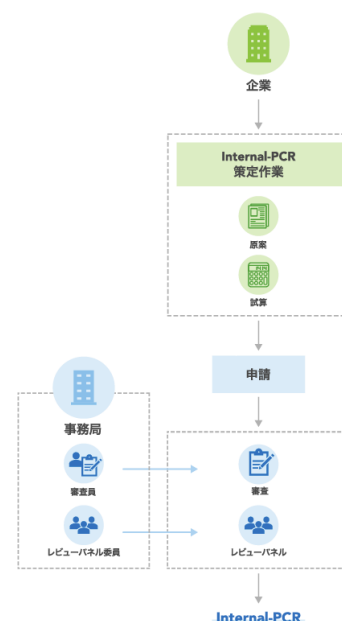
株式会社 TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：山崎 敦義、以下 TBM）は、一般社団法人サステナブル経営推進機構（本部：東京都千代田区、代表理事：壁谷 武久、以下 SuMPO）の「SuMPO/Internal-PCR 承認制度」で LIMEX 製品に関するカーボンフットプリント算定ルールについて承認を得たことをお知らせします。



■ 「SuMPO/Internal-PCR 承認制度」とは

Internal-PCR とは、PCR（Product Category Rules：特定の製品カテゴリーに関するカーボンフットプリント*等の算定やコミュニケーションに関するルール）のうち企業内で用いられることを想定して作成されたものを指します。「SuMPO/Internal-PCR 承認制度」の目的は、信頼性と妥当性の高い Internal-PCR を構築・運用することにより、カーボンニュートラルへ向かうための自社製品の環境情報の可視化と環境情報であるカーボンフットプリントを用いた社内外コミュニケーションの促進に活用いただくことです。

昨今、カーボンニュートラル実現への取り組みが加速する中で、Scope 1、Scope 2、Scope 3 に代表される組織全体の排出量を算定・開示・削減する動きに加えて、製品の取引においても製品単位のカーボンフットプリント情報の共有が重要になっています。一方で、カーボンフットプリントのデータ収集や算定を巡るルールが未整備であることも多く、算定作業



Internal-PCR 承認制度の体制イメージ図

の効率や算定結果の信頼性、その内容のコミュニケーション方法の明瞭さに企業間、そして企業内でも差があることも指摘されています。こうした問題を解決するために、信頼性と妥当性を担保された、カーボンフットプリントの算定などに関するルールの策定が求められています

この制度を運営する SuMPO は 20 年以上 LCA を実践しており、その担保が可能です。具体的には、カーボンフットプリントの算定の基盤となるライフサイクルアセスメント（LCA）の国際基準である、ISO 14040 及び ISO 14044 に則った算定ルールであることを、SuMPO が承認することとなります。

* カーボンフットプリント：製品・サービスのライフサイクルで排出された温室効果ガスの量を CO₂量に換算したものの。

・ SuMPO/Internal-PCR 承認制度の概要

	Internal-PCR 承認制度	企業内の算定ルール
背景	<ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラル実現のため、自社製品のカーボンフットプリント情報の把握が必要になる。 ● サプライチェーン間での製品単位のカーボンフットプリント情報の開示が求められている。 	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品単位のカーボンフットプリントにおける算定目的やデータ収集の条件などの言語化。 ● 統一された企業内算定ルールにより、一定品質を保つ。 ● 体外的な透明性のあるコミュニケーションツールとして活用。 	
算定ルール	ISO14040 及び ISO14044 に基づいた SuMPO の要求事項に準拠した企業内算定ルール（Internal-PCR）	ISO14040 及び ISO14044 や、様々なガイドラインを参考に作成した算定ルール
作成	LCA エキスパートにより、製品単位のカーボンフットプリントにおける算定目的やデータ収集の条件などの言語化を支援可能	社内の算定経験のある担当者が作成する
特徴	第三者による審査により信頼性・妥当性の高い算定ルールの確立	自社策定の算定ルール

(関連サイト) [「Internal-PCR 承認制度」公式ページ](#)

■ 今回の取り組みの概要

この度は、「SuMPO/Internal-PCR 承認制度」において TBM の主力製品である LIMEX（ライメックス）製品に関する算定ルールについて、承認を得ました。独自の技術によって開発した環境配慮型素材である LIMEX については、SuMPO をはじめとする外部の専門家の知見を得ながらカーボンフットプリント算定に取り組んできましたが、Internal-PCR を策定し承認を得たことで、算定の信頼性と妥当性の更なる向上が期待されます。

今後、「SuMPO/第三者認証型カーボンフットプリント包括算定制度」や「SuMPO 環境ラベルプログラム」への応用も見据えて Internal-PCR の運用を進めていきます。

■ TBM のカーボンフットプリント算定・LCA に関する取り組み

TBM では、自社で生じる環境影響だけでなくサプライチェーンの上流・下流で生じる環境影響も総合的に理解・低減していくため、製品・サービスのライフサイクル全体またはその特定段階における環境影響を科学的かつ定量的に評価する手法であるライフサイクルアセスメント（LCA）を積極的に活用しています。

2016 年に東京大学 生産技術研究所 沖研究室と共同で LCA を実施して以来、2018 年から 2019 年にかけては一般社団法人産業環境管理協会（JEMAI）と共に LIMEX Sheet や LIMEX Pellet を用いた成形品の LCA を実施、2020 年からは JEMAI の産業支援部門業務を引き継いだ SuMPO の協力の下で LCA に取り組んでいます。開発・製造段階では、この LCA の手法を用いて製品のライフサイクルの各段階での環境負荷を定量化し、製品ごとに環境負荷の特性や改善余地の把握、改善効果の確認などを行っています。また、LCA での算定結果を、LIMEX の技術背景から環境性能までを網羅したレポート「LIMEX Innovation Report」に掲載するなど、環境負荷に関する情報公開も実施しています。

(関連サイト) [TBM のサステナビリティページ](#)、[LIMEX Innovation Report](#)

■ 株式会社 TBM

代表者 : 山崎 敦義

所在地 : 東京都千代田区有楽町 1-2-2 15F

設立 : 2011 年 8 月

資本金 : 1 億円 (資本準備金含み、120 億 3546 万円 / 2023 年 12 月末時点)

事業内容 : 環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL : <https://tb-m.com/>

- ・ 2013 年 経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択
- ・ 2014 年 国内特許を取得し、現在、日中米欧を含む 40 カ国以上で登録。その他 100 件以上の特許出願を実施
- ・ 2015 年 宮城県白石市に第一プラントを建設
- ・ 2015 年 経済産業省の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」に採択
- ・ 2016 年 米国シリコンバレーの「Plug and Play」で初の『世の中に最も社会的影響を与える企業ソーシャルインパクトアワード』を受賞
- ・ 2018 年 COP24 (第 24 回国連気候変動枠組条約締約国会議) に日本政府代表団として参加
- ・ 2019 年 軽井沢で開催された「G20 イノベーション展」に出展
- ・ 2020 年 使用済みプラスチック等の再生材料を 50%以上含む素材「CirculeX (サーキュレックス)」を発表
- ・ 2020 年 宮城県多賀城市に第二プラントを建設 (LIMEX 生産容量: 23,000 トン/年)
- ・ 2021 年 韓国財閥の SK グループと 135 億円の資本業務提携を合意
- ・ 2021 年 自社製造拠点で使用する全電力を実質 100%再生可能エネルギーへ転換
- ・ 2022 年 科学的根拠に基づく目標 (SBT) 認定を取得
- ・ 2022 年 Amazon が設立した「The Climate Pledge」に署名
- ・ 2022 年 神奈川県横須賀市に LIMEX とプラスチックを自動選別・再生するリサイクル工場を建設
- ・ 2022 年 CDP の「気候変動」と「水セキュリティ」に関する調査で「B」認定を獲得
- ・ 2023 年 経済産業省が運営するインパクトスタートアップ育成支援プログラム「J-Startup Impact」に選定
- ・ 2024 年 世界経済フォーラム年次総会 (ダボス会議) に参加

*本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 TBM コミュニケーション本部 広報・マーケティング部 担当: 菊田

サステナビリティ本部 担当: 羽鳥

メールアドレス: pr@tb-m.com

問い合わせフォーム: <https://tb-m.com/contact/>